

厚生常任委員会

コロナ感染症対策などに予算増額

予算に関する審議で、139億円を増額しました。

内訳は、新型コロナウイルス感染症対策として、「患者等を受け入れる医療機関の病床確保に対する助成に要する経費」に137億6千万円、「医療機関が行う医療従事者の勤務環境改善に対する助成に要する経費」1億4千万円です。

また、専決処分の「ワクチン個別接種及び中小企業が実施する職場接種の促進」に要する経費など69億1千万円を承認しました。

またコロナ禍で生活に困っている方に対する「緊急小口資金等の特例貸し付けを実施する県社会福祉協議会の貸付原資に対する助成」に要する経費について20億8千万円を増額しています。これま

での実績は令和2年3月から令和3年8月までに18000件131億円程度が貸付けられています。

なお、「新型コロナウイルス感染症の新規感染者が減少傾向にあるもとで、今こそワクチンと一体に大規模検査の実施を求める請願」が提出され、私は、感染症対策は早期発見・隔離・治療の観点が必要であり賛同しましたが、大規模検査について否定的な意見が多く出され、採決で否決されました。



地域対策特別委員会

移住定住推進本部を設置する

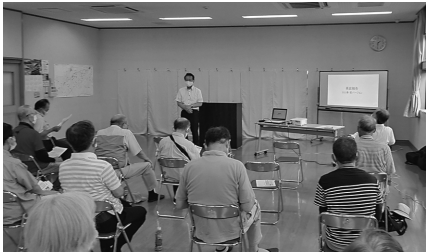
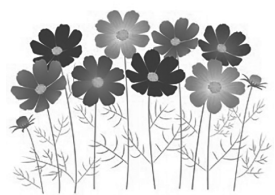
この委員会では、(1)新たな地方創生への取り組みについて(2)行政サービスの維持向上について審議を行っています。

DX（デジタルトランスフォーメーション）は、これからの社会構造を変えていくものとされています。県でも高度情報化推進本部を設置し、情報化施策として(1)安全・安心・便利で創造性豊かな社会の実現(2)デジタル行政の実現を柱として、様々計画を策定、実施に取り組んでいます。

移住定住等関係は、移住定住推進本部を設置し、「地方移住の関心の高まりに合わせ、都市部の若年層をターゲットに、豊かな暮らしを実現する施策を展開し、熊本への人の流れを加速化する」

ことを方針に掲げ、様々な施策を実施しています。また市町村も積極的に取り組んでおり、具体的な移住に関連した補助金も用意されています。このことで少子化の歯止めや地方創生の活性化を進めていきます。

また、人口減少に伴い、市町村の行政もその維持が難しくなっています。職員数も減少する中、広域連携や業務のデジタル化に取り組む一方、インフラの老朽化など課題は山積している状況があります。



▲県政・市政報告会
(武蔵ヶ丘：R3年7月24日・31日)



▲水俣病天草原告団陳情対応 (R3年8月6日)



▲コロナ感染症対策に関する知事への要請活動 (R3年8月24日)



▲ワンピース銅像の視察研修
(御船町：R3年9月26日)



▲熱海市土砂災害支援募金活動
(びぶれす前：R3年7月16日～20日)



▲原水禁集会 (白川公園：R3年7月30日)



▲厚生常任委員会視察
(KMバイオロジクス：R3年8月19日)



▲水俣風力発電予定地視察
(R3年9月4日)

写真で見る議員活動記

西聖一のひとり言

この秋、映画「MINDA MATAR」みなまたー」を皆様ご覧になったでしょうか。「バイレツ・オブ・カリビアン」等で有名なハリウッドスターであるジョー・ディン・スミス氏のヒーモンドラマです。

私は熊本で育ち、他県の方からすれば水俣病を詳しく知っていると思っ

たが、私の知る水俣病は、テレビや新聞で知っただけのうわべだけのものだったと改めて実感しました。

先日天草の水俣病原告団の方と意見交換をする機会を得ました。水俣病は水俣地域限定のイメージがありますが、病気の原因は有機水銀の暴露によるものです。天草及び不知火海沿岸の方も、当時は魚を主食としていました。その結果、暴露したと思われる症状を示す方がかなりおられ、今なお認定に向けて闘っています。

水俣病だけでなく、公害病は企業や政府の隠ぺいによって未だに世界各地に存在しています。被害を受けた住民の運動は起きていますが、中々解決困難な状況にあります。

不都合な真実を隠しては、未来の子供たち、ひいては人類や自然を大きく苦しめることになります。多くの皆さんにこの映画を見ていただき、事実を共有して、よりよい解決に向かう社会を実現したいものです。

ハリウッドスターが水俣病を制作



頑張っま〜す〈活動日誌〉

7/12～19	県内保健所視察	8/19	厚生常任委員会視察 (KM/バイオロジクス、グランメッセワグチン広域接種会場)
7/16～20	熱海市土砂災害支援募金活動 (びぶれす前)	8/24	コロナ感染症対策に関する知事への要請活動
7/21	県央管内行政事業説明会(テルサ)	8/29	県政報告会 (ユウベルホテル)
7/24・31	県政・市政報告会 (楠、龍田、麻生田、武蔵丘)	9/3	議案説明会
7/29	DAIZU株式会社視察	9/6	連合との県議会対策会議
7/30	原水禁集会 (白川公園)	9/4	水俣風力発電予定地視察
8/6	水俣病天草原告団陳情対応	9/10～10/6	9月定例県議会
8/7	坪井川河川敷除草作業	9/26	インターシップ生との現地研修会
8/10	広範な国民連合全国集会 (ZOOM会議)	10/27	連合熊本定期大会
8/18	平和運動センター会議		

編集後記

6月、そして7月にコロナワクチンを打ってもらった。さしたる影響もなく日々を過ごしているが、友人・知人に会えないことや、外出の控え、マスクの着用など、生活が拘束されていることに慣れてはきたものの、やっぱり窮屈さは否めない。近所の高齢者たちも朝早くスーパーで買物したら、その後は家にこもったりとか。テレビだけが唯一の外との接触に。筆者も週3回ほど白川の堤防を往復1時間近く歩く。車の通行量が少ないし、東西南北の山々の景色を音楽を聴きながら歩く。友人らとはもっぱら電話で近況報告をし合っている。コロナ喜ぶな、負けないぞ！